

## ご挨拶

一般社団法人熊本県臨床検査技師会  
会長 田中 信次

会員の皆さまにおかれましてはご活躍、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より熊本県臨床検査技師会の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今回、第55回熊本県医学検査学会の開催にあたりご挨拶申し上げます。

本学会は県北地区担当として、くまもと県北病院 廣瀬里子学会長、荒尾市民病院 西田志保実行委員長の下に熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール大会議室にて開催されます。新型コロナウイルス感染症を乗り越えて対面での開催となり、会員の皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

今回の学会は特別講演1題と会員のみなさまが日頃の研究成果を発表していただく一般演題は23題、ランチョンセミナー1題が予定されています。

特別講演ではくまもと県北病院副院長 溝部孝則先生から「当院における新型コロナウイルス感染症診療の経験」と題し講演をいただきます。溝部先生はくまもと県北病院の副院長でいらっしゃるとともに呼吸器内科医であることから、今回のコロナ禍では病院管理や診療での陣頭指揮のご苦勞は筆舌に尽くし難いものをお持ちだと思われまふ。そこを敢えて我々臨床検査技師のためにご経験をお話いただくことは大変ありがたく、貴重であります。会員の皆さまにおかれましては、今後新型コロナウイルス感染症のことだけでなく未知の感染症に遭遇することを想定し、溝部先生の体験をお聞きいただき、未来へ備えていただきたいと思ひます。

私たち臨床検査技師は新型コロナウイルス感染症に対してPCR検査、検体採取、そして限定ながらワクチン接種の担い手として活躍し、国民の日常を取り戻す原動力になっております。そしてこれらは今後も継続していきます。また厚生労働大臣指定講習会（タスクシフト/シェア講習会）がすでに開催がされており、臨床検査技師は医師の働き方改革の一員として存在感を示しています。皆さまには世の中の流れから医療界での臨床検査技師の立ち位置をしっかりと見定められるようにアンテナを張っていただきたいと思ひます。そのために臨床検査技師会を情報収集の一つのツールとして利用していただき、今後のブラッシュアップ、スキルアップに繋げていただければと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。また重ねてのお願いですが、タスクシフト/シェア講習会は臨床検査技師必修の講習会となるので皆さま必ず受講をお願いします。

最後になりますが廣瀬学会長、西田実行委員長ならびにご協力いただいた実行委員の皆様、賛助会員の皆様にごころより感謝申し上げますとともに、皆さまの今後の健康と活躍を祈念し開催の挨拶とさせていただきます。